

スタディサプリ

2021年3月30日

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ

学校向け『スタディサプリ』のテスト教材がパワーアップ WEB上で配信・回答ができる「単元テスト」新登場

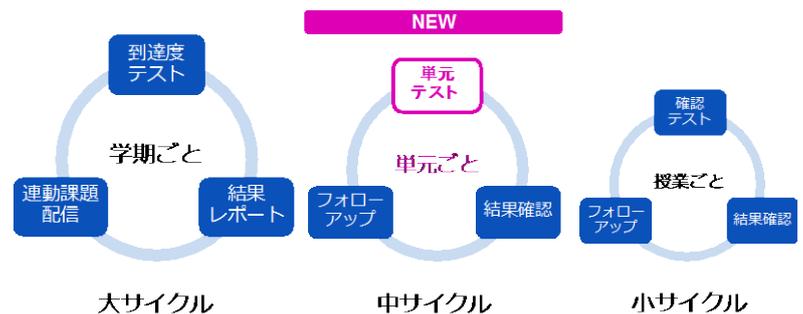
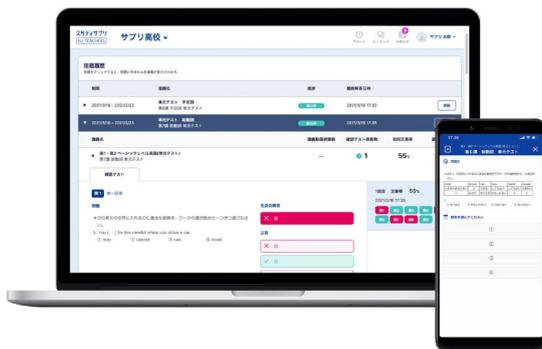
株式会社リクルートマーケティングパートナーズ（本社:東京都品川区、代表取締役社長：柏村 美生）が提供するオンライン学習サービス『スタディサプリ』は、学校向けに2021年4月よりお使いいただけるWEBの「単元テスト」の提供を開始しますので、お知らせします。

■生徒の「わからない」を「わかる」につなげるテスト教材

オンライン学習サービス『スタディサプリ』は全国の高校約2,000校(2021年1月時点)に導入いただいております。学校向け『スタディサプリ』では、宿題配信や進捗管理、コミュニケーション機能の提供を通じて、先生方の学習の伴走・サポート、よりよい指導の実現を目指しています。

学校向け『スタディサプリ』の学習サービスでは、基礎的、網羅的で細かな出題によって、一人ひとりの基礎学力到達度を正確に測ることができる絶対評価型アセスメント「到達度テスト」を提供しています。導入校は年に2回任意の時期に紙ベースでの「到達度テスト」を実施いただき、先生方は生徒のつまずき箇所の特定、運動した個別最適な課題の配信を『スタディサプリ for TEACHERS』から行い、生徒の基礎学力の向上をサポートされています。加えて、日々の授業ごとの理解度測定・演習用ツールとしては、講義ごとに用意された「確認テスト」をご活用いただいています。

単元ごとのテストで、中サイクルでの理解度確認も可能に



▲テスト画面イメージ

▲各テスト(一部)の位置づけ

■先生も生徒もつまずき把握がより柔軟に。個別最適学習をより細かくサポート

今回、この学期ごと・授業ごとの中間となる、「単元ごと」のWEBテストである「単元テスト」を新たに提供開始し、先生がより適切なシーンや頻度で学習理解度を測り、つまずき克服につなげることを可能にします。

「単元テスト」は、各単元に関連する各講義から重要な内容を選んで問題を作成しており、各単元の内容の理解度を網羅的に測ることが可能です。先生の日々の学習指導の中で活用いただきたいという背景から、先生の管理画面である『スタディサプリ for TEACHERS』からのみ配信できる仕様としています。

さらに2021年夏頃には、この「単元テスト」に「フォローアップ配信機能」が付加され、「単元テスト」の小問単位で、生徒一人ひとりのつまずきに運動した個別最適な課題を手間なく配信することが可能になります。先生は「単元テスト」と「フォローアップ配信機能」によって、単元ごとのサイクルで、理解度を測り・確認し・フォローする、という一連の流れをシームレスに実現することが可能になります。また、生徒は、先生によって適切なタイミングで必要なテスト・課題が配信されるため、課題を消化しきれない状態にならずに苦手克服に取り組むことができます。スタディサプリでは、引き続き機能・コンテンツ双方のアップデートを通じて、先生のさらなる指導効果の向上をサポートしてまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

https://www.recruit-mp.co.jp/support/press_inquiry/

リクルートマーケティングパートナーズはこれからも、ひとりひとりにあった「まだ、ここにいる、出会い。」を届けることを目指してまいります

■単元テスト 概要

対象科目：中学講座・高校講座の英語・数学

※サプリの講座単位で順次制作、今後対象拡大を検討

小問数：8~15 問程度

目安時間：10~20 分程度

※本サービスは学校向けサービスで利用可能な機能であり、個人のお客様はご利用いただけません。

■スタディサプリの学校導入について <https://teachers.studysapuri.jp/>

学校教育のサポートツール『スタディサプリア for TEACHERS』は、先生の"生徒一人ひとりに寄り添いたい"をICTでサポートするツールとして、全国の高校で活用されています。生徒の学習習熟度を『スタディサプリア 到達度テスト』で特定し、“苦手克服課題”として、生徒一人ひとりに合わせたオンライン講義動画を配信し、“宿題”として、クラス全員に特定の講義や確認テストを配信することが可能となります。

また、『スタディサプリア ENGLISH』では2020年4月より英語民間検定試験や共通テストに向けて、英語4技能すべてをトレーニングできるコース『スタディサプリア ENGLISH 英語4技能コース』を提供しています。実際の試験で頻出の問題形式の講義動画と豊富な演習で、検定試験対策をすることができます。

本講座に関する問い合わせ先：<https://teachers.studysapuri.jp/contact>